

平成 19 年

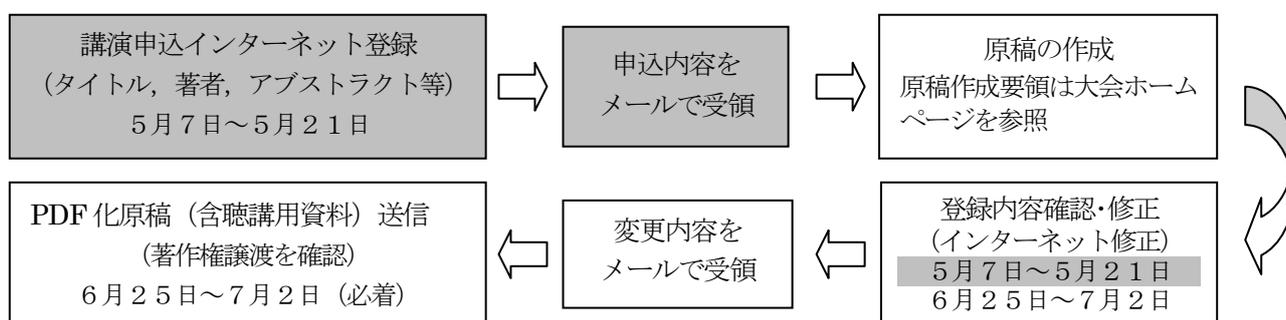
# 電気学会 電子・情報・システム部門大会

## 講演論文作成・送付要領のご案内

■■■■■■■■■■  
(第 6 報)

多数の講演申込みありがとうございました。既に講演論文作成に取り掛かられている方も多いと思いますので、今回はその作成・送付要領について説明します。なお、今後のスケジュールの概略は以下のようになっています（グレーの部分はすでに終了しています）。原稿は PDF 形式に変換していただいた上で Web ページを介して提出していただきます。

講演論文集の冊子にはプログラム、広告、聴講用資料等を掲載し、論文予稿は聴講用資料とともに CD-ROM に収録いたします。このため、大会会場で参加者が読めるのは、通常、聴講用資料のみです。（印刷した予稿の配布はありませんので、ご注意ください。）聴講者へのアピール度も考慮して、図表を多用した 1 ページの聴講用資料を作成していただき、論文原稿とともに PDF 化して送付して下さい。



### 【講演論文作成要領】

講演論文は、提出頂いた PDF 形式の原稿をそのまま CD-ROM 化することで作成します。締め切り日間に提出された原稿は手直しをしていただく時間がないので、本内容に従って余裕を持って原稿を作成して下さい。

1. 原稿用紙：A4 判のみとします。用紙の上段 25 mm，下段 24 mm，左右 16 mm の余白を設け、文字は 1 行 26 字×50 行×2 段=2,600 字として下さい。なお、左段と右段の間は 10 mm または 3 文字分の間隔を空けて下さい。
2. 頁数：原稿の 1 頁目は聴講用資料とし、次ページから論文本体となります。論文本体の頁数は、図表・写真を含め 1～6 頁程度とします。（6 頁を超えてもかまいませんが、聴講用資料とあわせて 3 MB 以下になるように作成して下さい。）
3. フォーマット：以下の指示に従って原稿を作成して下さい。

#### (1) 聴講用資料

聴講用資料のフォーマットは自由ですが、論文タイトル（和文・英文）と著者または講演者の氏名および所属は必ず記入して下さい。なお、A4 判用紙の 4 分の 1 サイズに縮小して印刷しますのでご注意ください。また、論文本体が 1 ページの場合、それで聴講用資料を兼ねることもできますが（この場合は添付不要）、縮小されて読みづらくなりますのでご注意ください。投稿原稿に聴講用資料のページがない場合は、論文本体の 1 ページ目がそのまま聴講用資料として代用されますが、同様に縮小されて読みづらくなりますのでご注意ください。

#### (2) 論文本体 (④Abstract のみ記載は任意ですが、他は必須です。)

- ① 表題：原稿用紙の第 4 行目以降に全段を使用し、2 行以内に大きめの文字（16 ポイント程度）で記載。
- ② 著者名および所属：表題から 1 行空けて記載。著者名は 12 ポイント程度、また所属は 8 ポイント程度の文字で記載。著者が多い場合には複数行にわたってもかまいません。講演者には、氏名の末尾右肩に\*印を付けて下さい。
- ③ 英文による表題、著者名、所属：著者名および所属から 1 行空けて記載。複数行にわたってもかまいません。
- ④ Abstract：③から 1 行空けて、150～200 words の英文概要を 8 ポイント程度の文字で記載。

- ⑤ キーワード：③または④の最終行から1行空けて、和文および英文キーワードを1行ごとに記載。論文内容を6つ以内のキーワードで表し、名詞形で記述。省略形・複合語は（海外を含めて）広く通用しているものに限ります。
- ⑥ 本文：⑤から1行空けて書き始めて下さい。文字の大きさは9ポイント程度とし、あまり小さくしないで下さい。大見出し、小見出し、図表タイトル、文献等の記載方法については書式自由です。

#### 【PDF化要領】

1. 使用できるフォントの制限：投稿されたPDFファイルは、WindowsおよびMacintosh対応のCD-ROMに掲載しますので、原稿内に使用するフォントは以下に限定して下さい。これ以外のフォントを使用されると、CD-ROMを利用する環境によっては文字化けを起すことがあります。  
日本語フォント：MS明朝またはMSゴシック（Windows）  
細明朝または中ゴシック・平成明朝または平成角ゴシック（Macintosh）  
英字フォント：Arial, Century, Times, Times New Roman, Helvetica, Symbol
2. 使用できる文字：コンピュータの機種により文字化けが発生する可能性がありますので、漢字コードは第二水準以内の文字をお使い下さい。特にMacintoshをお使いの方は、ローマ数字や丸付き数字などの特殊記号は必ずJISコードをご利用下さい。
3. 色：色の制限はありません。ただし、モノクロプリンタで出力したときにも区別できるよう色使いにご注意下さい。
4. 写真や画像などの解像度：写真や画像を含む場合、PDF化することにより出力品質が劣化することがあります。ファイルサイズ制限内で、PDF化する際のジョブオプションの値を高くして作成して下さい。
5. ファイル形式：電子原稿は、Adobe Acrobat Reader 4.0以上で表示または印刷可能なPDFファイルで提出して下さい。
6. ファイル名：必ず拡張子（.pdf）を付けて下さい。
7. 作成するアプリケーション：原稿を作成するアプリケーションの制限はありません。
8. PDFファイルの作成方法：PDFファイルは、原則としてAcrobat 4.0以降（または同等品）を用いて作成します。作成方法については付属のマニュアルまたはWEB上（<http://www.gakkai-web.net/pdf>）の作成方法をご覧下さい。Acrobatの詳細については<http://www.adobe.co.jp/>をご覧下さい。必ずAcrobat Distillerを使って作成して下さい。特にイラストや画像、数式、グラフ等を含むPDFファイルの作成はPDF Writerを使用しないで下さい。
9. PDFのファイルサイズを小さくする方法：<http://www.gakkai-web.net/pdf>を参考にして下さい。

#### 【原稿送付要領】

- (a) 7月2日（月）必着で、大会ホームページで指定するWebページを用いて提出して下さい。提出は、ファイル名の選択後、送信ボタンを行うことでできますが、その前に、著作権譲渡に関する文章をお読み下さい。送信操作は、譲渡の承認と見なします。著作権譲渡書の紙での提出はありません。
- (b) PDF化の手段がない場合やファイルサイズ等の制限でPDFファイルを送付できない場合は、原稿受付窓口（Email: eiss07@gakkai-web.net）にお問い合わせ下さい。

#### 【部門誌への投稿】

昨年と同様に、C部門大会での講演の中から優秀な研究発表を特集論文として投稿いただく部門大会特集号（平成20年7月号予定、平成19年10月22日（月）締め切り）を予定しています。大会での討論結果をもとに論文として完成させ、奮ってご投稿下さい。

#### 【投稿論文の著作権について】

当大会論文集に掲載される論文については、著者全員は、「電気学会部門誌への投稿手引」の著作権・出版権に関する記述をご理解の上、以下の諸項にご同意願います。

- (1) 著作権の電気学会への譲渡。電子メディア化する権利、翻訳権、翻案権、二次的著作物の利用権を含む。
- (2) 他の著作物の著作権を侵害していないこと。および、著作権許諾が必要な引用については無償での転載許諾を書面で得ていること。

- (3) 内容に本質的な貢献を行った人は全て著者に含まれていること。
- (4) 必要な場合には著者の所属機関のしかるべき権限を有する人の同意を得ていること。なお、著作権の譲渡を行っても、以下の権利は著者の手元に残るものとする。
- 著作権以外の例えば特許権のような権利
  - 著者が自分の業績をまとめる際にその一部分として使用すること
  - 著者が営利を目的とせずに行う複製（例えば教育資料としての使用）
  - その他、日本の著作権法に反しない利用

#### 【講演申込み内容の確認・修正・取消要領】

登録済みの講演申込み内容は、6月25日（月）から7月2日（月）の間は確認・修正が可能です。ただし、この期間に修正された内容は、編集の都合上、部門誌8月号の大会案内には反映できませんのでご注意ください。

1. 本案内の末尾に掲載の「平成19年 電気学会 電子・情報・システム部門大会」のページを開きます。ブラウザは Internet Explorer 5.0 以降、または Netscape Navigator 4.7 以降を推奨します。
2. 左側の目次にある「登録内容修正」を選択します。
3. 新規登録時に発行された受付番号とパスワードを半角で入力します。
4. 登録されている内容が表示されます。修正の場合は下の修正ボタンをクリックし、必要に応じて修正して下さい。修正した場合には「登録ボタン」をクリックします。修正登録後、再度メールが配信されます。取消の場合は下の「取消ボタン」をクリックします。

#### 【開催概要】

会期：平成19年9月4日（火）、5日（水）

会場：大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス（〒599-8531 堺市中区学園町1-1）

内容：一般講演、企画セッション講演（公募、技術委員会、大会委員会による企画）、特別講演、先端技術セミナー、懇親会

発表分野：電子材料、電子デバイス、電子・集積回路、光・量子エレクトロニクス、医用電子・生体工学、電子応用、センシング、通信・ネットワーク、マルチメディア、音声画像処理・認識、制御・計測、ロボティクス、ソフトコンピューティング、システム、ソフトウェア・情報処理、エレクトロニック・コマース、社会・環境システム

発表内容：発表の内容は、最近行った研究および調査の結果、または成果をあげた新しい企画および試験結果の報告、新製品の技術的紹介などで、学術的に価値のある未発表のものに限ります。なお、内容が不相当と認められるものは採択いたしません。

発表時間：1件あたり20分（討論含む）。公募企画セッションでの講演も1件あたり20分を目安とします。

発表資格：特に問いません。会員以外の発表も歓迎します。ただし、

- (a) 講演は1人1件を原則とします（同一人が数件の応募論文に共著として参加することはさしつかえありませんが、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することは認められません）。
- (b) 使用言語は、日本語または英語とします。

大会参加費：（会員：不課税、会員外：消費税込み、講演論文集一冊の代金を含みます。）

- |                 |         |                      |        |
|-----------------|---------|----------------------|--------|
| (a)正員（協賛学会員を含む） | 11,000円 | (b)准員・学生会員（協賛学会員を含む） | 3,000円 |
| (c)会員外          | 14,000円 | (d)会員外学生             | 6,000円 |

\*ただし、会員外学生の中で希望者については、本参加費をもって電気学会への加入を認めます（平成19年度分会費に充当）。

表彰：本大会における優秀論文発表者および優れたセッションオーガナイザに下記の賞を贈呈いたします。

優秀論文発表賞（優れた論文を発表された、大会期日内で満35歳程度以下の方）若干名

企画賞（優れたセッションを企画実行されたC部門登録者の方）若干名

C部門奨励賞（優れた論文を発表されたC部門登録者で、大会期日内で満35歳程度以下の方）若干名

また、参加者数が多かった企画セッションに対しては、優遇措置の制度があります。

特別講演：

日 時：平成19年9月4日（火）16:00～17:00

講 師：日産自動車（株）最高執行責任者 志賀 俊之 氏

講演題目：「日産の挑戦～持続的なイノベーションを目指して～」

場 所：大阪府立大学 学術情報センター Uホール白鷺

【CPD 受講証明サービス】本大会へのご参加・論文発表等は、当学会が登録・管理する技術者継続教育（CPD）受講証明サービスの対象です。詳細は、電気学会ホームページ（<http://www.iee.or.jp/honbu/cpd.html>）をご覧ください。

【主催】電気学会 電子・情報・システム部門

【共催】電気学会 関西支部

【協賛】映像情報メディア学会、エレクトロニクス実装学会、応用物理学会、計測自動制御学会、システム制御情報学会、情報処理学会、照明学会、電子情報通信学会、日本 e-Learning 学会、日本感性工学会、日本生体医工学会、日本設備管理学会、日本知能情報ファジィ学会、レーザー学会

【電子・情報・システム部門大会ホームページ】<http://www2.iee.or.jp/~eiss/conf2007/>

【問い合わせ先】(社) 電気学会 事業サービス課 電子・情報・システム部門大会係  
〒102-0076 東京都千代田区五番町6-2 Homat Horizon ビル8階  
E-mail: [conf21c@iee.or.jp](mailto:conf21c@iee.or.jp) Tel: 03-3221-7313 Fax: 03-3221-3704